



あなたと鉄道写真2020 (1)



ETR えちごトキめき鉄道



2020001



出品者名：千葉 和成様
住 所：埼玉県さいたま市
タイトル：只見線の夏休み
撮影年月：1983年の夏休み
撮影場所：福島県・只見駅

●写真に関する思い出、エピソード

中学生の同級生と3人で、盛夏にキャンプに行った時の写真です。さらに只見駅からバスに乗って、当時の南郷村(現、南会津町)にあるキャンプ場を訪れました。

写真はキャンプの帰路、只見駅から小出駅に向かう列車です。県境の長いトンネルを窓を全開にして涼み、髪がぼさぼさになった記憶が残っています。

2020002



出品者名：千葉 和成様
住 所：埼玉県さいたま市
タイトル：清水港線、最後の春
撮影年月：1984年3月
撮影場所：静岡県・三保駅

●写真に関する思い出、エピソード

廃止前の清水港線に乗りたくて、中学最後の春休み、同級生と青春18きっぷで訪れた際の写真です。清水駅のはずれにあるホームから乗車し、終点の三保駅まで4駅、あっという間の旅でした。帰りは貨物と一緒に混合列車だったことを覚えています。

2020003



出品者名：千葉 和成様
住 所：埼玉県さいたま市
タイトル：夜行列車で行く登山
撮影年月：1985年8月
撮影場所：東京都・東武浅草駅

●写真に関する思い出、エピソード

当時、東武鉄道が運転していた山岳夜行「奥日光号」で日光の山をめざした際の写真です。

東武日光駅の到着は午前2時過ぎだったと記憶しています。ほとんどの乗客は5時前の連絡バスで奥日光に向かいますが、私は東武日光から直接登れる女峰山をめざして、午前3時頃から暗い日光の街中を歩いた思い出があります。

2020004



出品者名：千葉 和成様
住 所：埼玉県さいたま市
タイトル：井川線の家族旅行
撮影年月：2014年11月
撮影場所：静岡県 接阻峡温泉駅

●写真に関する思い出、エピソード

列車の旅を楽しんだ3世代家族旅行の一コマです。

当時、災害の影響で井川線の運行は接阻峡温泉まででした。そのため路線バスで接阻峡温泉駅まで行き乗車したところ、お客さんは少なく、窓を開けて色づき始めた沿線の紅葉を存分に楽しみました。

2020005



出品者名：西谷 篤様
住 所：北海道札幌市
タイトル：常磐線221レ原ノ町
撮影年月：1982年8月
撮影場所：常磐線 原ノ町

●写真に関する思い出、エピソード

北海道旅行に向かう途中、同行の友人に写してもらった1枚です。東北新幹線開業後も常磐線に残された「どんこう」と呼ぶに相応しい客車列車。ドアは手動、長い停車時間は自由にホームを散歩したり、駅弁を買ったり…。時間に追われず、先を急がず、こんな旅が当たり前だった時代でした。

2020006



出品者名：西谷 篤様
住 所：北海道札幌市
タイトル：赤谷線さよなら列車
撮影年月：1984年3月
撮影場所：赤谷線 新発田

●写真に関する思い出、エピソード

1984年3月末で新潟県の赤谷線と魚沼線が廃線になると聞き、1年後に大学受験を控えていた身ですが、何とか親に許しをもらい乗り納めに行きました。上野から上越線の夜行電車に乗り、長岡で乗り換えて新発田へ。そこで対面した「さようなら」マークを付けたディーゼルカーとの記念の1枚です。赤谷線を往復した後は弥彦線の廃止予定区間（東三条～越後長沢）、そして魚沼線にも乗車。とても充実した新潟夜行日帰り旅となりました。

2020007



出品者名：牛山 道夫様
住 所：新潟県上越市
タイトル：妙高高原駅雪月花
撮影年月：平成28年6月5日
撮影場所：妙高高原駅

●写真に関する思い出、エピソード

家族3人で、雪月花に乗りました、写真は、妙高高原駅です。この年のトキ鉄開業イベントに、家族で上越妙高駅へ行って、西口光のテラス付近で、御社の社員さんに勧められ、ハイデツキ席を予約して、6月5日に旅をしました。床が1段高く、窓が極端に大きかった記憶が有り、食事が、フレンチで、スープが旨かったし、乗務員さんや、アテンダントさんの、おもてなしに、感動しました。天気は生憎の曇り空でしたが、車掌さんの、ユーモア満載の解説が良かったし、インパクトが有りました。今では、すっかり鉄オタになり、トキ鉄専門の撮り鉄、たまに、乗り鉄して、憂さ晴らしをしていますが新型コロナウイルスの影響で、写真を撮れないのが、キツイのです。また、写真を撮れるようになったら、撮り鉄を再開して、写真を見て頂きたいと思います。

2020008



出品者名：中村 悠造様

住 所：神奈川県横須賀市

撮影年月：平成16年10月

撮影場所：関東鉄道水海道車両基地

●写真に関する思い出、エピソード

当時は千葉県市川市に住んでいて、初めて地元にはない気動車に乗って茨城県の関東鉄道でのイベントへ行きました。まだ中学生だった私に、係員の方はとても親切にしてくださいました。この写真は、係員の方に撮っていただいたものです。この時の私、今と全く雰囲気が変わらない気がします(笑)

2020009



出品者名：中村 悠造様
住 所：神奈川県横須賀市
撮影年月：平成28年5月
撮影場所：関東鉄道常総線新守谷付近

●写真に関する思い出、エピソード

友人と一緒に、薫風香る中ロックフェスイベントのために仕立て立てられた臨時列車を撮影しに出かけた時の1枚。私は撮り鉄で、自身で撮影した列車の写真や友人等が撮影してくれた停車中の列車とツーショット写真はいっぱいありますが、走行中の列車を撮影しているシーンを記録した写真は珍しいので応募してみました。
※撮影者承諾済。

2020010



出品者名：静 拓志様
住 所：東京都中央区
撮影年月：2017年3月
撮影場所：いすみ鉄道 総元駅

●写真に関する思い出、エピソード

鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいる春の駅。長女が元気いっぱいに駆けてきて、列車の到着を教えてくださいました。ようやく歩けるようになった長男はママにつかまりながらも、黄色いディーゼルカーに興味津々。車内のお客さんも、みなさん菜の花に目を惹かれ、こちらを見えています。列車が動き出すと、こちらもみんなで手を振って見送りました。

2020011



出品者名 : 静 拓志様
住 所 : 東京都中央区
撮影年月 : 2019年1月
撮影場所 : E Lレトロ横川号 車内

●写真に関する思い出、エピソード

お正月に群馬にSLを見に行きました。
帰りに乗った列車でこども限定で車掌さん体験のイベント
があり、参加しました。
車掌さんの席の近くで、本物のマイクで車内放送。上手に
できて、本物の車掌さんにも褒められました。

2020012



出品者名 : 静 拓志様
住 所 : 東京都中央区
撮影年月 : 2018年8月
撮影場所 : しなの鉄道 三才駅

●写真に関する思い出、エピソード

長女に続いて長男も三才を迎え、しなの鉄道「三才」
駅に記念写真を撮りに行きました。
前回もそうだったのですが、たくさんの「三才」見フ
ァミリーが記念写真を撮りにきていました。
制帽をお借りして写真を撮り、記念に入場券を買いま
した。

2020013



出品者名 : 静 拓志様

住 所 : 東京都中央区

撮影年月 : 2019年1月

撮影場所 : 山手線 田町～浜松町

●写真に関する思い出、エピソード

通勤の電車から見える公園が気になり、子供を連れて休日に訪ねました。山手線、京浜東北線、東海道本線、東海道新幹線さらに東京モノレールと計10本の線路が公園の真横を走ります。

引退が迫っていた山手線E231系の通過に合わせて、1枚撮りました。

2020014



出品者名 : 静 拓志様

住 所 : 東京都中央区

撮影年月 : 2018年5月

撮影場所 : 成田ゆめ牧場

●写真に関する思い出、エピソード

牧場の中を走るトロッコ列車に乗りに行きました。屋根がないトロッコからは広々とした景色が見えました。

本物のSLが走る日もあるようなので、また行ってみたいと思います。

2020015



出品者名：東原 聡様
住 所：千葉県流山市
タイトル：朱鞠内駅（19950728）
撮影年月：1995年7月
撮影場所：深名線朱鞠内駅

●写真に関する思い出、エピソード
四半世紀前の夏、北海道ニューワイド周遊券を片手に、深名線の乗り納めに行ってきた時の写真です。朱鞠内駅で出発を待つ単行のキハ53をバックに近くにいた方に撮ってもらいました。が、この頃はまだ廃線フィーバーにはほど遠く、長閑駅だったのを思い出します。深名線はこの約一カ月後に廃止となりました。あの時車窓から見た荒涼とした風景は今でも目に焼き付いています。

2020016



出品者名：東原 聡様
住 所：千葉県流山市
タイトル：鉄道博物館（20190715）
撮影年月：2019年7月
撮影場所：鉄道博物館

●写真に関する思い出、エピソード
一歳半になる孫を初めて鉄道博物館に連れて行った時の一枚です。ついさっき一緒に乗った「ミニはやぶさ号」を見つけ、「電車！電車！」と連呼し続けて大喜び。この日からE5系が大好きになったのは言うまでもありません。

2020017



出品者名：上野 嶺様

住 所：長野県飯綱町

撮影年月：2019年6月6日（木）

撮影場所：軌道鉄道の黒部第4発電所のりば

●写真に関する思い出、エピソード

縁があって、黒部峡谷の山岳地帯のダークサイドで運行されている、発電所関係者しか乗れない、軌道鉄道の車両へ乗車する機会がありました。

毎日のように電気設備も設けられない、高温の地層があるトンネル区間を、発電所で働く人を乗せて、毎日何往復、かつ何十年も嫌な顔もせず走り続けている姿、そして80年前、最高160℃以上にも及ぶこの現場で、軌道鉄道のトンネルを完成されたエピソードを聞き、感銘を受けました。トンネル内の地層の高熱地帯では、電気設備を設けるとすぐ使い物にならなくなってしまいうので設けられておらず、レールのメンテナンス等で日々の整備もご苦労されているようです。

吉村昭著「高熱隧道」という本で、トンネルを掘り始めてから完成までのエピソードがつつられています。

2020018



出品者名：やぎさん様
住所：神奈川県横浜市
タイトル：「photo_tokitetsu.png」
撮影年月：昭和45年4月頃
撮影場所：反町公園（横浜市神奈川区、JR東神奈川駅の近くにある公園です。）

●写真に関する思い出、エピソード
昭和45年、東海道線沿いの公園で、真剣に電車を見つめる2歳の少年…私の鉄道人生の出発点です。
あれから約半世紀、平成31年1月16日、最後に残っていた香川県の八栗ケーブルに乗車し、日本の鉄道全線制覇を達成しました。大学受験や就職の失敗、さらには不景気によるリストラなど、決して楽な人生ではありませんでしたが、鉄道という趣味があったおかげで、数々の苦難を乗り越えられました。ありがとう、鉄道！そして、これからもよろしく！

2020019



出品者名：奥井 卓也様
住 所：東京都世田谷区
撮影年月：2010年11月
撮影場所；金沢駅、上野駅

●写真に関する思い出、エピソード

2011年のダイヤ改正で急行能登、寝台特急北陸が定期廃止になるというニュースが出た頃です。

いつもは関西のおじいちゃん、おばあちゃんに会いに行く時は往復で新幹線を使っていましたが、定期運行廃止のニュースをみた息子の「ブルートレインに乗りたい！電車の中で寝る！」という希望を叶えるため、大阪からサンダーバードで金沢駅へ行き、念願の北陸と能登が並んだところで記念写真を撮りました。金沢からA寝台個室に乗り、一晩起きて頑張るつもりだったようですが、金沢から上野はあっという間だったようです。

結局息子がブルートレインに乗れたのはこの一回限りでしたので、良い思い出です。

2020084



2020020



出品者名：Y. F様

住 所：北海道

タイトル：十勝三股駅 代行バス

撮影年月：1987年3月15日

撮影場所：国鉄士幌線十勝三股駅及び代行バス停留所

●写真に関する思い出、エピソード

鉄道写真ではありませんが、廃止直前の国鉄士幌線、終点十勝三股駅でのひとコマです。北海道では、赤字ローカル線が次々と廃止になり、小学生から中学生だった私は、乗りに行きたいのに、なかなか行けず、唯一親の許可が出たのが、近隣の国鉄士幌線でした。糠平駅から、代行バスに乗り、終点十勝三股まで、行きました。

3月中旬にも関わらず、雪深い中、数多くの鉄道ファンが訪れており、

その中の一人に撮影してもらった記憶があります。

廃止になり、30年以上の月日が過ぎましたが、まだ遺跡も残っていて、ドライブがてら、思い出を散策することもあります。

2020021



2020022



出品者名：川合 将也様
住 所：新潟県上越市
撮影年月：2019年4月
撮影場所：妙高はねうまライン春日山～高田 飯踏切近く

●写真に関する思い出、エピソード

今年は運行中止になってしまった高田お花見号。去年妻と一緒にピンクのE653系に会いに出かけました。ちょうど私が手を上げた時に撮ってくれて、あたかも「久しぶり！」と挨拶しているように見えます。来年またピンクのE653系に挨拶出来ると嬉しいです。

2020023



出品者名：M. A様
住 所：埼玉県さいたま市
撮影年月：昭和61年12月27日
撮影場所：西鹿児島駅

●写真に関する思い出、エピソード

小学6年生の時、お年玉を貯めて九州3泊4日の一人旅。3泊全部列車泊、最後のトリが「はやぶさ」でした。撮影していると運転士(機関士?)さんに「どっから来たんだ?」と聞かれ、「埼玉です」「お父さんとかは?」「一人です」「凄いなあ～っ!1人かっ!」なんて会話の後、「写真撮ってやるよ。乗りな。」と言われ撮ってもらった写真です。こんな感じで、旅の先々でやさしく声を掛けてもらった事もあり、いまだに九州は大好きです。子を持つ親の立場になり、携帯電話も無い当時、一人で九州に行かせてくれた両親も心配だったのかなあ・・・と、亡き両親を思い出せたりもする宝物です。

2020024



出品者名：阿戸 美由紀様

住 所：広島県広島市

撮影年月：2019年4月上旬

撮影場所：愛媛県 高浜駅

●写真に関する思い出、エピソード

春休みに大学の友達と愛媛旅行に行き、松山港の近くの「高浜駅」というところで、電車が出発するまでの待ち時間に撮影しました。始発駅に来たのは初めてで、人がほとんどいなかったのが私たちにとって珍しい光景でした。「貸切電車みたいだね」とちょっとワクワクした思い出の一枚です。

2020025



出品者名：MAGA様

住 所：神奈川県川崎市

ファイル：軽便列車のそよ風

撮影年月：2006年7月

撮影場所：いしかわ子ども交流センター小松館「なかよし鉄道」

●写真に関する思い出、エピソード：

蒸し暑い夏の日、鉄道好きだった甥っ子たちは、窓を開けて林の中を走る軽便列車の涼しい風を楽しんだ。私の子供の頃の夏の暑い日のように。甥っ子たちは今、立派な青年になり活躍している。今は鉄道を離れている彼らだが、いつか軽便列車のそよ風を思い出して乗りに来た時は、当時と何一つ変わらない姿で彼らを乗せてあげてほしい。

2020026



出品者名：M A G A様
住 所：神奈川県川崎市
タイトル：32年目の再会
撮影年月：2007年8月

撮影場所：旧尾小屋鉄道・旧尾小屋駅

●写真に関する思い出、エピソード

鉄道好きだった甥っ子と一緒に32年ぶりに旧尾小屋駅にやってきた。駅舎はなくなっていたが、このディーゼル機関車が出迎えてくれた。甥っ子の姿に昔の自分を見るとなおのこと、私より3歳年上の機関車が自然に戻っていく姿に時の流れを感じた。幸い、この機関車も、今は別天地でピカピカの姿に復元されて余生を送っている。いつか甥っ子に、人生万事塞翁という言葉を使って人生を語るとき、この機関車の車歴を伝えたい。

2020027



出品者名：M A G A様
住 所：神奈川県川崎市
タイトル：ローカル私鉄の夏
撮影年月：2007年8月

撮影場所：北陸鉄道石川線 鶴来駅

●写真に関する思い出、エピソード

真夏の暑い日の田んぼの隣の留置線の予備車。この静かな光景は、子供の頃の越後交通栃尾線の悠久山駅で見た光景を思い出させる、自分にとって夏のローカル私鉄の典型シーン。この贅沢な光景は、とても価値があることを妻と甥っ子に熱弁して記念写真を撮った。その後、いつの間にかこの車両はいなくなり、留置線もなくなった。この後、この思い出の車両とは、別天地で12年後の夏に夫婦で再会、車内で乗車気分を楽しむことができた。

2020028



出品者名：MAG A様
住 所：神奈川県川崎市
タイトル：楽しい車掌さんの車内検札
撮影年月：2012年7月
撮影場所：ひたちなか海浜鉄道・車内

●写真に関する思い出、エピソード：
ひたちなか海浜鉄道の貸切列車の特別企画に夫婦で参加。妻も、高校時代に国鉄ローカル線で通学していた頃を懐かしく思い出して楽しんでいました。いつもは駅窓口にいるこの鉄道のマドンナが車掌として車内放送をして、切符を切ってくれた。小学校の頃、関東鉄道の部品即売会で買った車掌腕章を私は持参し、この貸切列車で特別に腕章をつけてもらった。みんなが楽しいひとときを特別列車の中で過ごした。

2020029



出品者名：MAG A様
住 所：神奈川県川崎市
タイトル：昭和な沁みる夜汽車気分
撮影年月：2012年12月
撮影場所：ひたちなか海浜鉄道・阿字ヶ浦駅

●写真に関する思い出、エピソード：
那珂湊で美味しいあんこう料理を夫婦で楽しみ、酔い覚ましにひたちなか海浜鉄道を終点まで往復することにした。偶然にも、急行「きのくに」の特別運転に乗ることができた。気分は、すっかり、昭和国鉄の夜行列車。終点の阿字ヶ浦駅での停車中、妻は車内でメールチェックをしていた。駅のホームから見ると、その姿は昭和な沁みる夜汽車だった。夜汽車でもっと遠くに旅したくなった。

2020030



出品者名：小宮山 英一様

住 所：新潟県妙高市

タイトル：雪月花_高田コース.jpg

撮影年月：2020 年2月

撮影場所：雪月花 高田コース乗車中の車内（上越妙高駅付近）

●写真に関する思い出、エピソード

高田コースの終点まで残り少なくなった僅かな時間。

アテンダントさんがパネルを持って記念撮影に回られていたので撮影をお願いしました。雪月花には何回か乗車していますが、運行中の車内での撮影は初めてで良い記念になりました。

いつか他社線乗入れ便にも乗車したいですね。

観光列車は、運行中の風景、乗車、どちらも楽しめます。

2020031



出品者名：古柴 浩様

住 所：千葉県勝浦市

タイトル：青函連絡船終了&青函トンネル開通の函館駅

撮影年月：1988年3月13日

撮影場所：函館駅

●写真に関する思い出、エピソード

3/11に急行「八甲田」に乗るため上野駅に行くが、車内は満員仕方なく、床に新聞紙を敷いて寝ていました。

青森駅について、青函連絡船乗車の列に並ぶが全く進まず、一時間近く待つが乗車できず、次の臨時便に乗車。自分もでしたが皆さん最後の乗車に別れを惜しむかのように、船上デッキに出ていました。翌日、1番列車に乗ろうかと思いましたが、混雑を避けて5番列車に乗車その前に撮影した写真です。青函トンネルに入る時は特に放送が無かったと思いますが、いきなり入った記憶があります。その後、世界初の海底駅「竜飛海底駅」に降りて、見学しました。

2020032



出品者名：小西 宏和様
住 所：京都府京丹後市
タイトル：米子 いそかぜ.jpg
撮影年月：1998年頃の夏休み
撮影場所：米子駅

●写真に関する思い出、エピソード
出雲大社にお参りし、玉造温泉と皆生温泉に泊まった山陰旅行の途中に米子駅で撮りました。「いそかぜ」には乗車しなかったのですが、地元で走っていた「あさしお」が廃止され、キハ181系を見る機会が減っていたため、乗りもしないのに撮ってもらったのだと思います。

2020033



出品者名：吉田 智和様
住 所：千葉県茂原市
撮影年月：2002年11月
撮影場所：両国駅

●写真に関する思い出、エピソード
幼少時代に毎日眺めていた、憧れの急行外房。小学3年の頃に廃止され、乗ることは叶いませんでしたが、この日1日限りの復活を果たした急行外房に乗車することが出来、いい思い出となりました。

2020034



出品者名：吉田 智和様

住 所：千葉県茂原市

撮影年月：2003年7月

撮影場所：上野駅

●写真に関する思い出、エピソード

新婚旅行でカシオペアに乗車する前に、機関車の前で撮影した写真です。

豪華列車に乗れたのはつい先日のように思いますが、既に17年が経過し、夫婦共々歳をとりました…

2020035



出品者名：YUKI様

住 所：兵庫県姫路市

タイトル：思い出の旅

撮影年月：2014年10月

撮影場所：兵庫県加西市 北条鉄道 法華口駅

●写真に関する思い出、エピソード

今現在10歳、当時5歳の孫とのローカル鉄道旅の思い出です。自閉症で人込みや会話が苦手な孫ですが、鉄道は大好きで、ホームで一緒に列車を待つ時間はたと言葉はうまくかわせなくても、二人にとってはかけがえのない「無言の会話」の時間です。この子の将来が不安ですが、私が生きている限り静かに見守り続けていきたいと思っています。

2020036



出品者名：片山 寛庸様
住所：千葉県松戸市
撮影場所：東海道線由比駅
撮影年月：2年前の夏休み

●写真に関する思い出、エピソード

夏に妻の実家に帰ったときに撮った1枚です。
特急列車通過待ちの停車時間が長かったため駅の
ホームに降りたところ反対側に電車が来て、娘が電
車に向かって手を振りました。今でも電車を降りる
と手を振っていて車掌さんが手を振り返してくれる
と喜んでいきます。